

持続可能な生産基盤の確立による酪農生産力の強化

(別海町上春別中部地域)

1 課題の背景 *****

対象：上春別中部地域7戸・1組織

- 法人経営、地域内移転増頭経営、搾乳ロボット経営など多様な経営形態が存在
- 生乳生産量の向上が地域の共通目標だが、経産牛1頭あたりほ場面積は少ない
- 円滑な組織運営マネジメント、生産効率の向上、良質粗飼料確保が必要

2 活動の経過 *****

組織運営のマネジメントの充実

- ・役割分担に基づく組織運営の構築支援
- ・情報共有のための仕組みづくりや組織運営手法を提案

組織内の役割分担を協議 (KJ法)



TMRセンター便り作成支援

R3年1期収量調査結果 (6月16日)

産場	正産収量 (kg/10頭)	総産量 (kg/10頭)	総乳収量 (kg/10頭)
本庄ノ井産場	2,910	18.4	536.2
R3 収量調査 平均(上春別)	2,361	19.0	442.6

「実証園を設置しました！」
農業者さんの畜舎 (山鹿さん近く) で、飼料用とうもろこしのいろいろな試験をしています！
たとえば...

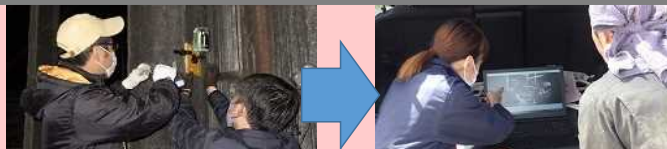
ほ場部による作付計画の協議



生産性向上に向けた乳牛飼養管理の改善

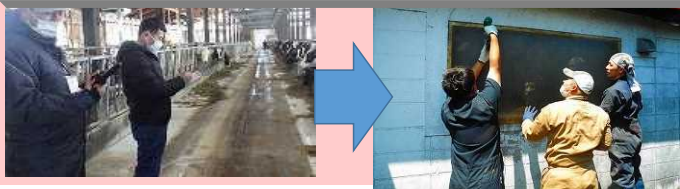
乾乳牛と搾乳牛の環境改善、飼料給与適正化を支援

コマ撮りカメラで採食量を調査し、農業者と映像確認



搾乳牛の採食量や牛舎内環境を可視化して改善策を提案

搾乳牛舎の換気量を調査し、換気改善を支援



TMRの飼料設計を支援



飼料部で粗飼料在庫を踏まえた飼料メニューの作成を支援

粗飼料品質の向上

ほ場利用計画を策定して、「計画的な草地更新」「設計に基づく適正施肥」「とうもろこしの作付け体系整備」の取り組みを支援

ふん尿散布量の聞き取り



農業者と雑草状況を確認



草地カリ減肥実証ほ設置



具体的な取組

- ・ふん尿散布量の確認
 - ・植生調査の実施
 - ・草地のカリ減肥実証
 - ・コーン畑の除草対策
 - ・コーン品種比較試験
- 農業者と一緒に確認！

3 活動の成果 *****

組織運営のマネジメントの充実

組織再編により、飼料部、ほ場部が新設

情報共有のための仕組みづくりが進んだ



TMRセンター便りの発行
や年間スケジュールの整理
(左写真)等の情報
共有が始まった



E農場「センター便りは他の牧場の取組
が見えてイイね。ウチも載せてね！」

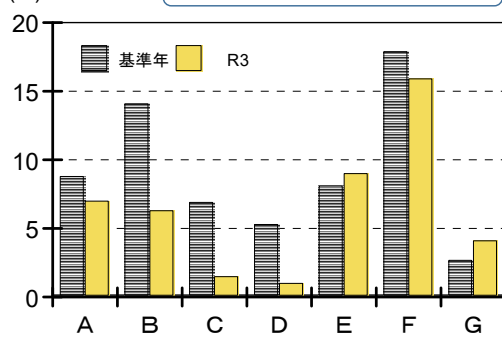


サイレージ在庫調査(飼料部)、ほ場利用に
係る検討(ほ場部)に新たに取り組み始めた

生産性向上に向けた乳牛飼養管理の改善

乾乳牛と搾乳牛の環境改善と飼料給与適正化が進んだ

分娩後60日以内死産率の推移

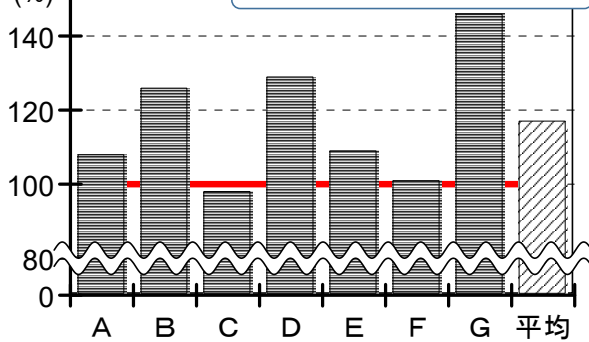


分娩後60日以内死産率が低下
(B・C・D・G農場)

B農場「乾乳牛をきちんと管理してから
牛の調子が良くなった」



出荷乳量の推移(基準年対比)



出荷乳量が増加
(A・B・D・E・F・G農場)

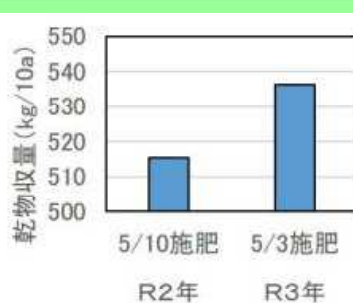
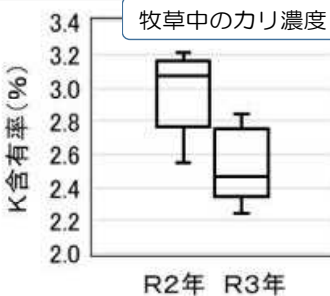
F農場「換気が良くなった場所
は、牛の体調が良くなった！」



粗飼料品質の向上

糞尿散布量、植生、土地条件を考慮しほ場台帳整備に着手

カリ減肥肥料を使用したほ場：収量は維持し、牧草中カリ含有率は低下



春の早期施肥とカリ低減肥料の
有効性が農業者に認識され、適
正施肥が行われた
計画的な草地更新を行うため、
植生把握と早晚性を考慮した
牧草種子を選定した

実証展示により、ほ場利用計画策定の重要性が理解された

収穫時期を考慮した品種選定と効果的
な除草剤を検討した

4 今後の活動 *****

- (1) 組織運営マネジメントの充実に向けた運営と情報共有に係る支援
- (2) 生産性向上に向けた栄養管理と乳牛飼養管理の支援
- (3) 粗飼料品質の向上に向けたほ場利用計画の策定支援